

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	74	地方公共 団体名	兵庫県福崎町	消防団名	福崎町消防団
担当課	住民生活課	連絡先	Tel 0790-22-0560 E-mail jumin@town.fukusaki.lg.jp		
事業名	「未来の消防団」加入促進事業				
事業詳細	<p>○ 事業の目的・必要性</p> <p>福崎町消防団は人口2万人弱ではありながら、消防団員数600名を平成2年より30年以上も維持し続けている。平均年齢も約33才と全国的にも比較的若い。しかしながら、近年、団員確保に苦慮しており、その理由として地元地域からの人の流出が考えられる。</p> <p>地域防災力として若い団員確保に向けて幼い時から消防団の大切さや重要性等々の意識を持ってもらい、大人になったときに一人でも多く入団してもらえよう加入促進を目的としている。また、子どもたちにとって身近な大人が消防団員として活躍している姿を見てもらうことにより、消防団をより一層身近に感じ、防火・防災に役立てたい。</p> <p>田園地域である当町で消防団員への加入は地域で生まれ育った地元の人々が主軸であり、団員の確保は育ってきたその地域との繋がりが重要である。また子供たちの理解が深まることにより、その親である現団員の社会へ貢献している意識を向上させる。</p> <p>○ 事業内容</p> <p>令和4年9月29日(木)に福崎町立田原小学校運動場において、学校避難訓練終了後に消防団実践的放水訓練の実演や児童による放水体験、消防団からの講話、車両見学等、消防団・小学校合同防災訓練を全校児童対象に実施した。</p> <p>また、10月21日(金)に同校3年生児童を近隣分団のポンプ庫に招き、消防団の役割や意識、体験談の説明、放水体験、車両や資機材、装備品に触れる等の「消防団見学」を実施した。</p> <p>また啓発活動とし、町内全小学校へ防災標語を募集し、その標語の入ったデザインを中学校美術部へ依頼し、啓発グッズを作成し子どもたちへ配布した。</p> <p>今年度より救命救急講習として心肺蘇生法やAEDの使用方を小学校3校(高</p>				



学年)で実施し、命の大切さや救命の重要性・必要性について学校と連携し活動することが出来た。

○ 目標達成状況

指標	単位	当初目標値	実績値	備考
アンケート回収	%	80 (参加児童数)	100	より多くの声を把握したいため
アンケート満足度	%	満足度 80 (回収アンケート)	98.3	アンケート結果により、今後の活動(事業)に活かしたいため。
訓練参加団員	人数	40	38	平日実施ではあるが、多くの団員参加を目標にしたいため。

○ 事業成果

福崎町消防団は各集落単位に分団を有し、『自分たちの地域は自分たちで守る』という意識が確立している。集落内の各分団員の実践的放水訓練に触れ、体験をしてもらうことにより、子どもたちの消防団員への憧れや、親近感を得ることができ、将来の消防団員の加入を期待している。また、児童の保護者である現団員が訓練内で活躍している姿を間近で見ってもらうことにより、現団員の社会に貢献しているという意識の醸成も期待できる。何より子どもたちが直接消防団員の活動に触れることにより、地域への愛着が持てる地域づくりが形成されていると確信している。

今回行った児童アンケートの結果によると、合同防災訓練及び消防団見学は、ほぼ全員が満足された結果であった。また、教職員アンケートや聞き取りの結果でも、消防団と学校が連携することの必要性や重要性の声が多く寄せられた。

しかし、児童アンケートにより課題も見出すことが出来た。「大人になったら消防団に入りたいですか?」の問いに「入りたい気持ちはあるが、他になりたい仕事や夢があるので入れない」等の意見が多くあった。消防団見学では消防団について説明をしてきたが、小学生には本業を別に持ち活動をしていることを理解する難しさを痛感した。この課題を今後の活動に活かしていきたい。

啓発グッズの標語やデザインを小中学生に考えてもらい、優秀な作品には表彰状を授与したことは、子どもたちにとってより一層消防団が身近な存在になれば防火・防災に役立てたと思う。

その他参考
情報

※URL の記載などをお願いします。



消防団・小学校合同防災訓練映像 (ドローン撮影)

